

概況(図1, 表1)

2月8~9日, 11~12日に千葉丸(317ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は遠州灘沖 33°10'Nを東進した後, 御蔵島の南を通過し, 房総沖を東北東へ流れ, 流型はN型であった。房総沖の黒潮離岸距離は「やや離岸」であった。

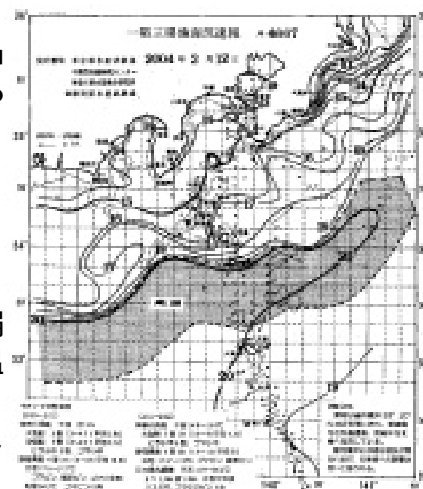


図1 一都三県漁海況速報

水温(表2, 図2・3・5)

海面では10~19, 100m深では12~19, 200m深では12~17であった。外房海域は「平年並」で, 銚子・九十九里海域は「低め」~「やや低め」であった。平年偏差は海面において, 犬吠埼周辺で負の偏差が大きく, 同海域の200m等深線上の観測点において50・100m深水温の平年偏差がそれぞれ-3.9・-2.5と観測史上最低の水温を記録した。これらの冷水傾向は, 黒潮が犬吠埼南東方から東へ流去していたことにより, 隣接海域の鹿島灘・常磐海域にある親潮系冷水の影響を受けやすくなったことによると考えられる。

塩分(図4・5)

海面では33.5~34.8, 100m深では34.1~34.8, 200m深では34.3~34.7であった。各層ともに犬吠埼周辺を中心に低い塩分が卓越しており, 犬吠埼に最も近い観測点では33.5以下が観測された。当海域は親潮系冷水の影響を受けていたと考えられる。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年2月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	60	やや離岸
太東岬	南東	60	-
犬吠埼	南東	(65)	やや離岸

* (数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2004年2月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	17.2	0.7	平年並	13.9	-1.7	やや低め
50	16.28	0.23	平年並	13.92	-2.57	低め
100	15.91	0.22	平年並	12.70	-2.98	低め
200	13.83	0.11	平年並	11.81	-2.06	やや低め

*水温は各海域の評価点の平均値

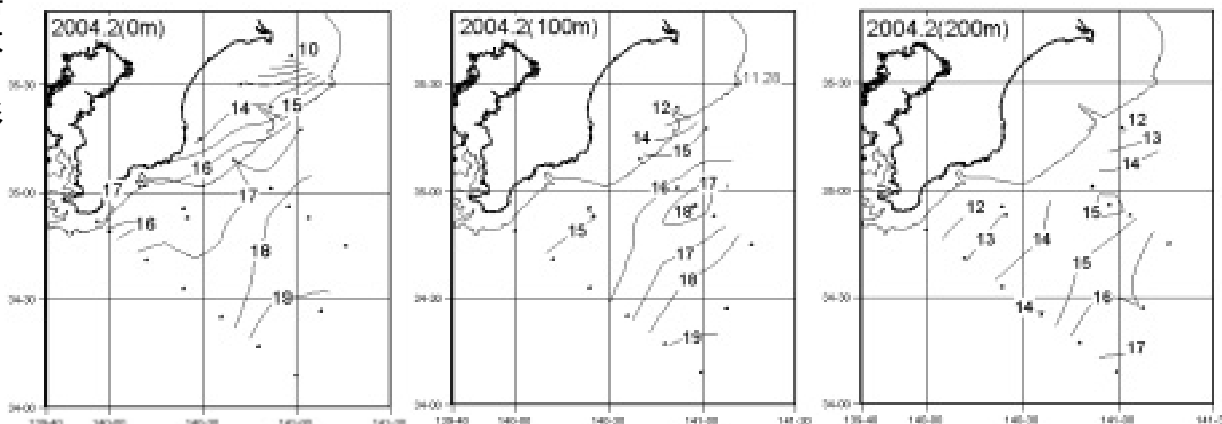


図2 水温の水平分布

流況(図1・2)

機器故障のため欠測。

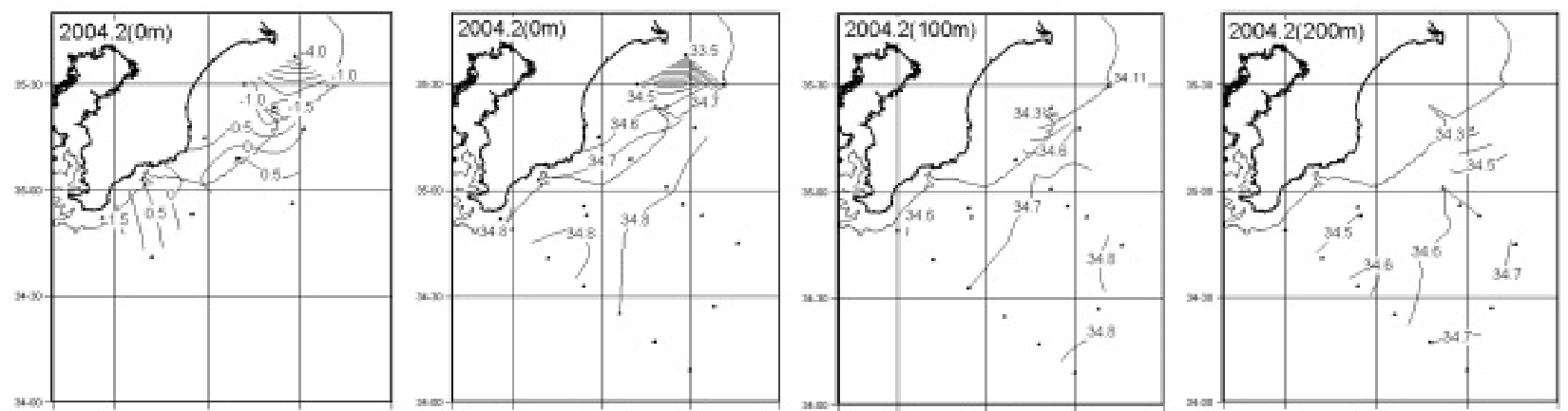


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

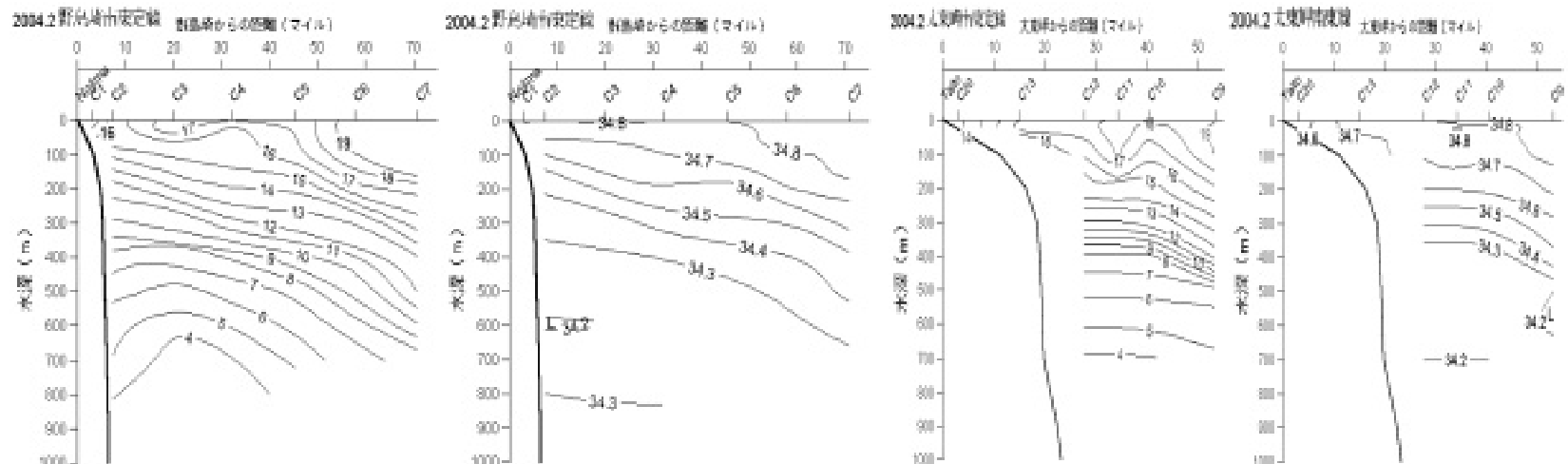


図5 水温と塩分の鉛直分布